



週報

入間ロータリークラブ

2023-2024 RI 会長:ゴードン R. マッキンナリー RI2570 地区ガバナー-高丹秀篤 会長:木下登 幹事:間野尚

6号 3297回例会 2023年 8月 24日 (木)

❀ 会長の時間 ❀

木下登会長

創立後 10 年迄の武蔵ロータリークラブの歩みを前回に続いて話します。

会場は「料亭魚いち」のお座敷と決まったが、これは飯能や狭山から集まるのに便利だということでもあります。ところが毎週木曜日に例会出席と聞かされて一同ビックリ!!「この忙しい時にとっても出席できるもんか」と云い「月の一回の例会にしろ」という意見が続出したが、ロータリーはそんなわけにはいかないと押し切られて、退会を申し出た者が 7 人も出てしまいました。それでも後に残った 15 名で活動をして、6 名の入会者を得た時は本当に嬉しかったです。埼玉県では、5 番目に古いクラブであるが、初めは、ロータリーとは何か、誰も知らない、ロータリー用語もわからない、大宮 RC の幹事であり、拡大補助者の山口大さんが毎週大宮から例会日には必ず来て、細かいことを一つ一つ教えて頂き、山口さんこそ当クラブの最高の功労者というべき人です。



卓話者も落語家のように座ったまま話すわけで、これには困った顔をしていました。お座敷例会場は日本に二つあって、その一つが武蔵ロータリークラブでした。

公式訪問では、大失敗をしてしまいました。ロータリーソングが下手くそだと叱られ、委員長報告である委員長が欠席したので、委員長の代わりを依頼した委員が、「私は何もわかりません」と返事をしたので、ガバナーのご機嫌を損ねてしまいました。

その頃、ガバナーと我々とは、知識にかなりの差があり、とても我々の及ばぬことと思っており、友人というより先生と生徒であった。

埼玉銀行豊岡支店に引っ越したのは昭和 35 年秋。当時は、ジョンソン基地にアメリカ将兵が沢山いたので、国際奉仕活動としてゴルフ会や家族を会員の家に招待したり、とても親密な交流をしていた。昭和 36 年にアジアでは初めて国際ロータリー年次大会が、東京で開催されることになったので、英語の勉強をしようとするようになり、アメリカ将校の若い夫人を先生にして、勉強を始めたが、生徒はみな 50 歳前後の人ばかりで、綺麗な青い目の先生を冷やかすのが楽しみにしているようでした。誰かが、「50 を過ぎて語学を勉強するのは裸でアルプスへ登るようなものだ」と冷やかしていた。当時の国際奉仕活動は活発で、他クラブから称賛されたものであります。武蔵ロータリークラブは、クリスマスやチャーターナイト・観劇会などの催しには、奥さんや子供の参加がとても多くて、家族会の良き伝統もこのころから築かれたものであります。

昭和 39 年には飯能ロータリークラブが誕生し、昭和 40 年には狭山ロータリークラブが創立されたので、当クラブの会員はまたまた激減し、26 名になってしまいました。昭和 41 年、武蔵町が入間市となったので、クラブ名を「入間ロータリークラブ」と改めたのである。(昭和 42 年 7 月 1 日) この後の入間ロータリークラブの歩みは、次回例会で、またお話しします。

次に当時の日本国内の主な出来事を話します。1964年（昭和39年）夢の超特急といわれた東海道新幹線が1964年10月1日に開業してから、まもなく満年60を迎えます。1964年（昭和39年）10月にアジア発の第18回東京オリンピックが開かれた。日本の金メダルは、16個でアメリカ・ソ連に次ぐ3番目のメダル獲得数となりました。

1965年（昭和40年）6月30日～7月2日の日本公演の為に、ザ・ビートルズ初来日。新聞や週刊誌による報道は過熱し、チケット騒動や会場問題が勃発した。ファンの暴動を回避するために103時間の滞在に動員された警察官は、延べ約8400人。約6500人の少年少女が補導されるという社会的な大ブームが起きました。

<幹事報告>

間野尚幹事

1. 8/31(木)ガバナー訪問例会、クラブ協議会の詳細



- グループ討議用対面テーブルを4箇所設営、テーマは職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕について進行は4大奉仕委員長が各テーブルで進め発表。グループ討議の担当責任者はクラブ奉仕委員長の晝間会員です。

- ロータリー美術館の設営等ございますので当日はご協力のほどよろしくお願いいたします。

- 紺色ブレザー、クラブネクタイの着用。

2. 秋田豪雨災害支援金は次回例会時に各自判断による支援となります。

3. 9/2(土)ロータリー財団セミナー
関谷委員長出席

4. 9/8(金)第三グループ会長幹事会
木下会長、間野幹事出席

5. 9/10(日)入間市少年野球夏季大会 欠席

6. 9/16(土)米山梅吉記念館ホール 墓参、講演 出席者未定

7. 9/17(日)社会奉仕セミナー
木下会長・田中委員長出席

8. 9/24(日)国際奉仕委員会 東松山紫雲閣
13:30～馬路委員長出席

9. 9/30(土)研修セミナー
木下会長、忽滑谷会員、間野幹事出席

●委員長報告

[ロータリー美術館]

後藤健館長

来週のガバナー訪問には会員の皆様のご家庭で眠っているお宝の品々の出品宜しくお願いいたします。



<ニコニコBOX>

白幡英悟SAA

☀旭さん、宇野さん、駒形さん本日のスピーチ宜しくお願い致します。

「木下登君、間野尚君、宮崎正文君
白幡英悟君、豊田義継君、馬路宏樹君」

☀来週のガバナー訪問の際、美術品宜しくお願いします。

「後藤健君」

☀本日はよろしくお願ひいたします。
「駒形一人君」

☀先日はある会合で熱中症で意識を失いました。皆様にお世話になりご迷惑おかけしました。お陰様で元気になりました。

「山岸義弘君」

☀本日仕事の為欠席いたします。
「津藤淳也君」

本日¥14,000

累計¥472,000

<出席報告>

金田晋委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
39名	26名	70.0%	-----

事前欠席連絡8名

■回覧、配布物

- ①ガバナー月信8月号
- ②米山梅吉記念賛助会入会のお願い
- ③米山梅吉館報 秋号 Vol. 42
- ④フードバンク入間ブルーベリー狩りお知らせ
- ⑤ロータリーリーダーシップ研究会案内
- ⑥10/24入間市ゴルフ協会ご案内
- ⑦国際交流 NEWS No. 125
- ⑧第21回ロータリー全国囲碁大会ご案内
- ⑨フードバンク入間活動報告7月
- ⑩ハイライトよねやま Vol. 281
- ⑪他ロータリークラブ週報&お知らせ
- ⑫入間クラブ週報5号

■ ■ イニシエーションスピーチ ■ ■



駒形一人会員



私は初対面の方とコミュニケーションをとることが苦手といわゆる人見知りでした。

現場に出て作業をしているだけでいい頃は問題なかったのですが、現場でリーダーとして動く時や、会社の代表として人と接しなければいけなくなってくると、色々な方とお会いすることが増えて今のままではいけないなと思うようになりました。何とかしたい、自分を変えたいと常に考えていましたが、どうしたら克服できるのかわからないまま時間が過ぎていきました。

十数年前にある方との出会いをきっかけに克服と迄はいきませんが、苦手意識がなくなりました。今では一番尊敬する方になるのですが、よく言えば、仕事に厳しいとなるのですが、悪く言えば、重箱の隅をつつくような非常に細かい方でした。常にお客様目線で指摘して頂いたという事なのですが、はじめのころはこの方とは上手にやっていた自信がありませんでした。ですが私の中でこの性格を何とかしたいと悩んでいた頃なので、思い切ってこの方と仲良くなってみようと思い食事に誘ってみました。その方は仕事が終わると別人のように気さくで、オンとオフがはっきりしたとても素敵な方でした。

その方は人からのお誘いは絶対に断らないそうです。特に自分より年上の方からは尚更だそうで、自分を成長させるのは経験でしかない。でも本を読むことと先輩方からのお話は知識として蓄積される。そんなありがたいことはないかと仰ってました。

そんな折に入間クラブへの入会させていただき、大勢の素晴らしい先輩方と楽しく、ありがたいお話をたくさん聞くことができ大変感謝しております。今後ともご指導のほどよろしく願いいたします。



旭雅則会員



私は昭和42年入間市仏子の生まれ、親父が左官屋を営んでいましたので、高卒で左官屋をやりたくて親父の後をついて入社。今は旭創建工業って社名変更して建築土木仕事やっています。

中学生の頃、弟が小児喘息もあって、芦ヶ久保のスケートリンクの方でスケートを弟と始め、中学2年頃には地元の子たち30人ぐらいを集めてチーム作りました。高校2年の時に埼玉県の寄せ集めチームに運よく入り予選会等で国体にも出場することができました。



子どもたち3人もアイスホッケーに係っています。今は息子のチームで監督みたいなのをやらせてもらっています。若い人たち22, 23歳ぐらいの子たちが、いっぱい入ってるので楽しくやらせてもらっています。本当にスポーツ遣ってて良かったと凄く実感でき、何か手助けできればと思ってやっています。

私がロータリーに入るきっかけは、忽滑谷さんに面倒見て頂いている関係とか、滝沢さんがおじさんの頃からお厄介になってるお家でしたり、あと晝間さんや色々な皆さんとゴルフをしてずっと遊んでいた先輩方を見て、入間クラブに入ろうと思いました。今後ともご指導よろしく願いいたします。





宇野健一 会員



私は、昭和 52 年生まれの今年 46 歳です。入間市に妻と子供 2 人の 4 人家族です。(株)住協という不動産に 23 年務めております。



北海道の十勝地方豚井で有名な帯広市の隣町芽室町という畑作地帯で 18 歳まで過ごしていました。畑作農家の 3 人兄弟の末っ子でした。私の実家は、ジャガイモ、小麦、スイートコーン、豆等畑作全般を作付けしている専業農家です。畑も当時で 40 ヘクタールくらいあったと思います。自然にあふれる地域でヒグマ、キタキツネ身近にいる環境で育っていました。

スピードスケートが盛んな地域で小学校から中学校までずっとやっていました。オリンピック選手の清水宏保選手といった有名な方々がいてとても毎日一所懸命スケートリンクに通っていたのを思い出します。学校の授業では、先程旭さん同様、アイスホッケー、スキーが授業で盛り込まれており身近にウィンタースポーツがある環境で育ちました。そんな中で中学高校と進みいざ進学といったところで実家は 6 歳上の兄が継いでいたこともあり、違う道に進むことを考えた結果、家とか建物を見るのが好きだったのもあり今話題の日本大学工学部建築学科に進学しました。

田舎者の私は、日大=東京とっていたため受験直前まで工学部が福島県郡山市であることを知りませんでした。

大学時代は、設計・工事の勉強を行いましたが、設計に必要な発想力などが無いことに早い段階で気づき施工管理などの仕事に就こうと考えました。当時は、今と違い就職氷河期などと言われる時代、地元の北海道で就職先を探しましたがなかなか良いところが見つかりませんでした。そんな中で、ローコスト住宅のハウスメーカーに内定が決まり東京都八王子市に就職が決まりました。就職しましたが、ローコスト

住宅の走りの会社、今でいうブラック企業でしたので当時の先輩の紹介で今の会社に就職をさせて頂き入間市に住むことになりました。昨年、JC の先輩でもある菅野さんの紹介で今回ロータリーに入会することになりました。まだ、わからないことだらけではありますが、一つ一つ覚えていきたいと思っております。この入会についても何かの縁だと思っておりますので今後ともよろしくお願い致します。

発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町 1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email : iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場：丸広百貨店入間店 6 F バンケットホール Tel. 04-2963-1111

■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：繁田光



Rotary